

第24回胃X線検査レベルアップセミナー アンケート集計

平成25年6月15日(土)
東京都放射線技師会研修センター

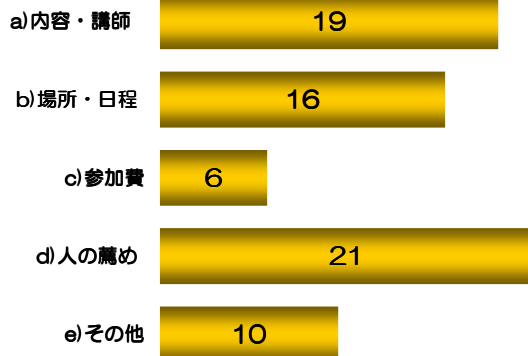
参加人数・回収数

	会員	非会員	計
参加数	30	28	58
回収数	24	28	52
回収率	80.0%	100.0%	89.7%

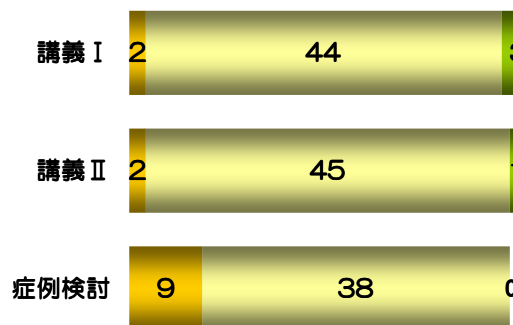
経験年数(年)

会員	非会員	平均
3.6	0.64	2.1

Q3 参加理由



Q4 講義のレベル



Q4① 胃X線検査のはじめの一步

田中講師

- 基礎の復習になりました。
- 基本的箇所を踏まえていた為まだ入りたての私にちょうど良かったです。
- 普段日常業務の中で気にしていなかった疑問が理解できた。
- 今まで自分があまり意識していなかった部分を学ぶことができました。
- 同じ内容のような講義を何回聞いても良いと思う。
- わかりやすかった。
- 病理や分類といった難しい内容ではなく、ローリング手法や前壁、ブラインドエリアのコツといったものがわかって良いと思った。
- はじめる方たちにはちょうど良いと感じましたが、ほぼ知ってる内容でした。
- 前庭小彎、横胃の前壁など、透視動画がおおいに参考になった前庭撮影時に呼吸法を併用など参考になった。
- わかりやすい説明で、動画もあり大変良かった。
- 1つ1つの撮影法の解説(重要性, 何が目的なのかなど)を具体的に講義してほしかったと思いました
- 講義の際は撮影しやすい胃が多いので、牛角胃、ばく状胃も少し入れてほしい。
- 撮影のコツがつかめた。
- 講義内容はわかりやすくとてもよかった。それだけにスライドの資料が配布してもらえないというのが非常に残念です。メモを取りたくても書くことが多すぎてスライドの速さにとてもついていけなかった。

Q4② 症例から学ぶ読影の基礎知識

小田先生

- とてもわかりやすかった。
- 様々な症例をみることで、どのような所見を気にすれば良いのかわかりました。
- 分化、深達度など詳しく説明していただいて非常にためになったと思います。
- 読影する上で必要なポイントが理解できた。
- 前半は統計データが多く、わかりにくかったが、後半は画像が多用され読影する上での注意点がよくわかりました。
- 肉眼的な背景粘膜のみかたなど、後のグループリード時に参考になった。
- 病理の写真を含め、資料が多くて良かった。
- もう少し時間があるといいなと感じました

- 9 もう少し初心者向けの内容だったら良かったなと思いました。
- 10 症例から異常像の見つけ方をわかりやすく説明してほしい。
- 11 実際の透視写真と内視鏡の画像を病変別に説明されて今後の撮影に役立てられると思った。
- 12 所見の表現方法使い分けなど、実践でも使えてあまり詳しく教えてもらったことがないような話も聞けてよかった。
- 13 過去の撮影法との比較は必要か？
- 14 分類など直接読影にかかわる内容をもっと詳しく講義してほしいです。
- 15 1つ1つの症例に対して具体的な解説があったので非常にわかりやすかったです。読影についてまだまだ難しいというイメージがありますが、関心がもてました。
- 16 講義時間がもっと長くて余裕がある進行であってもいい。
- 17 撮影時に技師に求められる読影力を学ぶことができたので良かった。スライドがわかりやすく話もおもしろかった。

Q4③ 症例検討(グループリーディング方式)

- 1 小田先生に直接質問できたのが良かった。
 - 2 それぞれの班の疑問点をまとめることで、解説がとてもわかりやすくなりました。
 - 3 症例2難しかったです。
 - 4 実際に読むことでどのような画像が必要かよくわかるためこのような実習形式はとてもよいと思います。
 - 5 話し合いながら病変を探していく方法が新しく感じた。
 - 6 各症例に対する考え方、ポイント等、他の人と学べて良かったです。
 - 7 少しむずかしかったです。深達度、ひだの融合が空気量でかわることなど。
 - 8 初心者セミナーのわりにはかなり掘り下げて聞くんだなと感じました。そこまで聞くんなら、もう少し作り込んだ資料が必要だと思います。(手引きをもう少し詳細に)
 - 9 マニュアル形式で順を追っての読影に活発な意見があり非常に参考になった。
 - 10 まだ胃X線をはじめたばかりでよくわかりませんでした。
 - 11 写真を見て診断をするのは、とても難しかったが、とても勉強になった。今後撮影していく中で注意しながら見ていきたいと思う。
- グループリーディング方式というのはとてもいい機会だと思います。しかし自分みたいな消化管経験0年の人と2, 3年やってる人では初心者といっても差はあると思います。その中で同じグループで検討しあうと未経験な自分としては話の内容がわからないことが少々あり理解できませんでした。
- 12 年やってる人では初心者といっても差はあると思います。その中で同じグループで検討しあうと未経験な自分としては話の内容がわからないことが少々あり理解できませんでした。
 - 13 PCが小さくわかりにくい。
 - 14 グループリーディングの手引き画像の観察1-10を追っていただきたかった。
 - 15 世話人で進行に大きく差がでているようだったので統一の進行を決めるべきだと考えた。
 - 16 撮影中にはあまり考えたことがない。深達度の詳しい解説が聞けて勉強になりました。
 - 17 小田先生の解答をはじめから聞きたかった。(質問に答えるだけでなく)

5 その他感想・要望・意見

- 自分で実際にやってみる(読影してみる)というのは学習効果が高いのはわかるのですが、グループディスカッションという点で、引いてしまっただけで参加しない技師もありました。来てみたら、グループディスカッションというのはいかがでしょうか。
- 2 このような読影をメインとしたセミナー、勉強会どんどんやってください。難しかったです、楽しかったです。
 - 3 前庭撮影、胃形による撮り分け方など、撮影法をさらにくわしくやってほしい。
 - 4 メモをとるのが追いつかないのでスライド資料があると復習も出来てありがたいのですが・・・
 - 5 軽食か飲み物が欲しかった。仕事終わりで時間的に少し難しくお昼も食べる時間が無かった。
 - 6 セミナーの申し込みの段階で「消化管経験年数」を募って比較的同じ時期くらいの人同士が同グループになって検討するというスタイルもあかなと思います。
 - 7 班の代表が前に出る方式は自信がないものにとって嫌だったので質問形式でとても良かったです。
 - 8 読影だけでなく、撮影手技(Baを流さない方法、流す方法など)の講義をもっと聞きたい。
 - 9 読影の時に使用する性状の言葉と写真の照らし合わせなどほしい。
 - 10 当日での参加も可能なようにしてほしい。
 - 11 次回も消化管撮影の講義をしてほしい。
 - 12 新宿辺りで開催を希望します。
 - 13 精密検査の手順を教えてください。
 - 14 質問式がポイントをついてよかった。
 - 15 レジュメの配布希望

日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部
放射線部会